



躊躇のような学校に

校長 三谷 穎

今年は、まさにゴールデンウィーク、子供たちにとっては10連休となります。新学期の緊張から解放され、ゆっくりできる期間ではないでしょうか。反面、定着した生活リズムが乱れないか、学校より家がいいという気持ちが強くならないかという心配もあります。ご家庭でも有意義な休みとなるよう、お子様への声かけをお願いします。

さて、(ご存じの方もいらっしゃるとは思いますが) 表題の「躊躇」はなんと読むのでしょうか? 「足偏がついているから、足の動きに関する言葉かな」と予想されるのではないかでしょうか。

「躊躇」は“てきちょく”とも読み、『行っては止まる』『躊躇(ちゅううちよ)する』『躍り上がる』という意味があります。今回表題に記した「躊躇」は“ツツジ”です。(本来は「羊躊躇」で、葉を食べたヒツジが躊躇(躍り上がって)して死ぬことからだ、という説もあります。) ツツジの花の、見る人の足を止める美しさからこの漢字が使われるようになったそうです。人の足を止めるから足偏がついているのですね。

サクラの4月からツツジの5月へ。学校周辺のツツジの木にも花が咲き始めました。子供たちの生き生きと活動している様子がツツジの花に負けないくらい人の目を引き、道行く人の足を止める。そんな学校づくりを行っていきたいと思います。ぜひ、滝部小学校に立ち寄られ、子供たちの活動の様子をご覧ください。



学校ホームページのご案内

昨年度までご覧になっていた方も多いと思いますが、滝部小学校にはホームページがあり、子供たちの様子を中心に、学校での出来事をお知らせしています。今年度は4月17日から記事を載せています。インターネットで「下関市立滝部小学校」と検索していただければ、『新着情報-下関市立滝部小学校-下関市教育委員会』が先頭に出てきます。

1日200件以上、開設以来25万7千件以上のアクセスがありますので、更新の責任を感じています。まだわからないことが多く、左側のメニューが更新できていません。操作方法を習得して少しずつでも改良していきたいと思います。記事は随時更新していくので、ぜひご覧ください。

